

第2編

平成19年度
がん医療医学者養成
インテンシブ・コース

1. 概要

1-1 学修目標

がん専門家に必要とされる基礎腫瘍学総論、臨床薬理・臨床試験概論、臨床腫瘍学総論Ⅰ（がん治療の現状、基本的治療法、悪性腫瘍の進行度による臨床分類学と予後判定、外科治療の適応と限界、放射線治療と化学療法への適応・具体的方法と評価・副作用・緩和ケアなど）、臨床腫瘍学総論Ⅱ（脳神経、頭頸部、呼吸器、乳腺、消化器、泌尿器、婦人科、血液、小児、骨軟部、精神などと腫瘍）、放射線診断学について学習する。なお、コメディカル・コース、インテンシブ・コースの共通科目である。

2. 授業内容

2-1 基礎腫瘍学総論（がんの生物学）

(a)担当教員

分子病理病態学 教授 樋野興夫

(b)日時, 場所

12月7日(金) 8号館1階3番教室

(c)授業内容(概要)

腫瘍の概念、腫瘍の病理学的分類、腫瘍の形態と構造、腫瘍の発生と進展、腫瘍の臨床、細胞同期、アポトーシス、がん遺伝子とがん抑制遺伝子

2-2 基礎腫瘍学総論（腫瘍免疫学）

(a)担当教員

免疫学 教授 奥村 康

(b)日時, 場所

12月5日(水) 10号館10階1021CF

(c)授業内容(概要)

免疫学の基礎のおさらい、抗腫瘍免疫によるサーベイランスとがんによる免疫抑制、抗腫瘍細胞性免疫によるがん治療、抗体を用いたがん治療、抗腫瘍免疫療法の展望と問題点

2-3 基礎腫瘍学総論（がんの発生, 疫学, スクリーニング, 発がん予防）

(a)担当教員

疫学・環境医学 教授 稲葉 裕

(b)日時, 場所

1月11日(金) 9号館2階8番教室

(c)授業内容(概要)

発がんと環境因子、遺伝子スクリーニング、遺伝カウンセリング、がんの一次、二次、三次予防

2-4 基礎腫瘍学総論（病理学・臨床検査医学・分子生物学）

(a)担当教員

分子病理病態学 教授 樋野興夫

(b)日時, 場所

12月17日(月) 9号館2階8番教室

(c)授業内容(概要)

生検、がんとバイオマーカー

2-5 臨床薬理・臨床試験概論（がん薬物療法と臨床試験Ⅰ）

(a)担当教員

臨床薬理学 教授 佐瀬一洋

(b)日時, 場所

12月12日(水) 10号館9階903CF

(c)授業内容(概要)

第Ⅰ相試験、第Ⅱ相試験第Ⅲ相試験有効性と安全性の評価

2-6 臨床薬理・臨床試験概論（がん薬物療法と臨床試験Ⅱ）

(a)担当教員

臨床薬理学 教授 佐瀬一洋

(b)日時, 場所

12月14日(金) 10号館9階903CF

(c)授業内容(概要)

臨床試験と個人情報保護、知的財産権研究の科学性確保と組織論生物統計、医師と薬事法医師とGCP
医薬品審査承認の仕組み治験責任医師の責務インフォームドコンセント

2-7 放射線診断学

(a)担当教員

放射線医学 准教授 白石昭彦

(b)日時, 場所

1月21日(月) 9号館2階8番教室

(c)授業内容(概要)

画像診断総論、病期分類と画像診断(脳神経、骨・関節・軟部、胸部、消化器、泌尿生殖器)、読影実習

2-8 臨床腫瘍学総論Ⅰ(外科腫瘍学)

(a)担当教員

上部消化管外科学 先任准教授 梶山美明

(b)日時, 場所

1月9日(水) 10号館9階903CF

(c)授業内容(概要)

がんの悪性度、がんの進行度と生存率、がんの検査法、がん治療法の選択、がん外科治療の実際、がんの転移・再発、手術とリスク(術後合併症など)

2-9 臨床腫瘍学総論Ⅰ(放射線腫瘍)

(a)担当教員

放射線医学 先任准教授 唐澤久美子

(b)日時, 場所

1月23日(水) 8号館1階3番教室

(c)授業内容(概要)

放射線による腫瘍制御の原理、放射線治療の役割と併用療法、治療方針の決定とそれに関わる因子、放射線治療の方法、放射線治療に伴う有害反応、放射線治療各論

2-10 臨床腫瘍学総論Ⅰ（抗がん剤治療：薬物療法）

(a)担当教員

客員准教授 癌研有明病院 高橋俊二

(b)日時, 場所

1月17日(木) 9号館2階8番教室

(c)授業内容(概要)

化学療法の歴史、化学療法の作用、抗がん薬スクリーニング、術前・術後化学療法、多剤併用化学療法、化学療法に関する各種理論

2-11 臨床腫瘍学総論Ⅰ（生物学的治療法など）

(a)担当教員

血液内科学 先任准教授 杉本耕一

(b)日時, 場所

1月24日(木) 10号館9階903CF

(c)授業内容(概要)

サイトカインと細胞療法、抗体療法、分子標的療法

2-12 臨床腫瘍学総論Ⅰ（支持療法）

臨床腫瘍学総論Ⅰ（腫瘍随伴症候群）

(a)担当教員

呼吸器内科学 教授 高橋和久

(b)日時, 場所

1月16日(火) 10号館9階903CF

(c)授業内容(概要)

悪心・嘔吐：好中球減少、血小板減少：貧血：血管外漏出
腫瘍随伴症候群の病態、分類、特徴

2-13 臨床腫瘍学総論Ⅰ（緩和医療学総論Ⅰ）

(a)担当教員

疼痛制御学 先任准教授 井関雅子

(b)日時, 場所

12月19日(水) 10号館9階903CF

(c)授業内容(概要)

全人的苦痛について、がんの痛みの発生頻度と特徴/痛みの機序と性状、痛みのアセスメント、WHOのがん性疼痛緩和の基本的な考え方、麻薬を中心とした鎮痛薬の使用法

2-14 臨床腫瘍学総論Ⅰ（緩和医療学総論Ⅱ）

(a)担当教員

疼痛制御学 先任准教授 井関雅子

(b)日時, 場所

1月8日(火) 9号館2階8番教室

(c)授業内容(概要)

鎮痛補助薬や神経ブロックによる疼痛緩和法、抑鬱、不安、譫妄の症状コントロール、消化器系と呼吸器系の症状コントロール、骨転移、泌尿器系、皮膚、口腔内の症状コントロール、理学療法によるADLやQOLの維持療法

2-15 臨床腫瘍学総論Ⅰ（腫瘍関連救急）

(a)担当教員

救急・災害医学 教授 射場敏明

(b)日時, 場所

1月15日(火) 9号館2階8番教室

(c)授業内容(概要)

がん関連救急、抗がん剤による急性有害症状に対する対応

2-16 臨床腫瘍学総論Ⅰ（栄養補給）

臨床腫瘍学総論Ⅰ（リハビリ）

(a)担当教員

小児思春期発達・病態学 前任准教授 永田 智
リハビリテーション医学 教授 長岡正範

(b)日時, 場所

2月1日(金) 9号館2階8番教室

(c)授業内容(概要)

がん患者における栄養補給
作業療法、言語療法、嚥下療法(がん患者に対するリハビリテーション)

2-17 臨床腫瘍学総論Ⅱ（消化器腫瘍学、肝胆膵含む）

(a)担当教員

消化器内科学 助教 加藤順子

(b)日時, 場所

2月8日(金) 8号館1階3番教室

(c)授業内容(概要)

腫瘍縮小効果と生存期間の対比多剤併用化学療法外来化学療法への推移セカンドラインの積極的な導入、集学的治療による延命有害事象に対する対策高齢者に対する化学療法他施設参加の臨床第Ⅲ相試験の重要性

2-18 臨床腫瘍学総論Ⅱ（呼吸器腫瘍学）

(a)担当教員

呼吸器内科学 教授 高橋和久

(b)日時, 場所

1月10日(木) 9号館2階8番教室

(c)授業内容(概要)

肺がん、中皮腫の分子病態肺がん、中皮腫の検査計画、治療計画と患者への説明肺がん、中皮腫の標準的治療、肺がん、中皮腫の化学療法と分子標的治療治療の効果判定肺がん、中皮腫化学療法に支持療法

2-19 臨床腫瘍学総論Ⅱ（乳腺腫瘍学）

(a)担当教員

乳腺・内分泌外科学 先任准教授 齊藤光江

(b)日時, 場所

2月5日（火） 8号館1階3番教室

(c)授業内容（概要）

乳がんの基礎研究の進歩、乳腺疾患の鑑別診断、乳がんの病理、乳がんの外科治療、乳がんの薬物療法、乳がんの放射線療法、乳房再建術、乳がん薬物療法に用いる薬剤の薬理、乳がん患者の緩和ケア・スピリチュアルケア、乳がんのEBM/臨床試験、乳がんの集学的治療におけるチーム医療の理解

2-20 臨床腫瘍学総論Ⅱ（血液腫瘍学、リンパ腫瘍学）

(a)担当教員

血液内科学 先任准教授 杉本耕一

(b)日時, 場所

2月7日（木） 9号館2階8番教室

(c)授業内容（概要）

白血病の病態と治療、リンパ腫・骨髄腫の病態と治療

2-21 臨床腫瘍学総論Ⅱ（泌尿器腫瘍学）

(a)担当教員

泌尿器外科学 准教授 荻島達也

(b)日時, 場所

1月25日（金） 8号館1階3番教室

(c)授業内容（概要）

精巣腫瘍の化学療法・放射線療法、腎細胞がんの免疫療法・化学療法、膀胱がんの化学療法・免疫療法・放射線療法、前立腺がんの内分泌療法・化学療法・放射線療法、副作用対策、緩和医療、栄養補助、QOL評価方法

2-22 臨床腫瘍学総論II（婦人科腫瘍学）

(a)担当教員

産婦人科学 教授 竹田 省

(b)日時, 場所

2月6日(水) 8号館1階3番教室

(c)授業内容(概要)

子宮頸がんの病因、診断、治療、子宮頸がん検診、NAC療法、予防ワクチン、子宮体がんの病因、診断、治療、化学療法、ホルモン療法、卵巣がんの病理および特徴、診断、手術療法、卵巣がんの化学療法、標的療法、緩和ケア、外陰がん、膣がんの診断、治療、絨毛がんの診断、管理法、化学療法、子宮肉腫の診断、治療、その他のがん

2-23 臨床腫瘍学総論II（頭頸部腫瘍学）

(a)担当教員

耳鼻咽喉科学 教授 池田勝久

(b)日時, 場所

1月28日(月) 8号館1階3番教室

(c)授業内容(概要)

頭頸部腫瘍の症状・診断、頭頸部腫瘍の治療、口腔がん、鼻副鼻腔がん、上咽頭がん、中咽頭がん、下咽頭がん、喉頭がん、甲状腺がん、その他のがん、頸部リンパ節転移

2-24 臨床腫瘍学総論II（骨軟部腫瘍学）

(a)担当教員

整形外科学 准教授 鳥越知明

(b)日時, 場所

1月29日(火) 9号館2階8番教室

(c)授業内容(概要)

骨軟部腫瘍に対する診断と治療

2-25 臨床腫瘍学総論Ⅱ（小児腫瘍学）

(a)担当教員

小児思春期発達・病態学 准教授 齋藤正博

(b)日時, 場所

2月20日(水) 10号館9階903CF

(c)授業内容(概要)

小児腫瘍概論、小児腫瘍に対する治療：化学療法・外科治療・放射線療法・支持療法、各論：血液腫瘍・悪性リンパ腫：脳腫瘍：固形腫瘍、緩和医療

2-26 臨床腫瘍学総論Ⅱ（脳神経腫瘍学）

(a)担当教員

脳神経外科学 教授 新井 一

(b)日時, 場所

1月7日(月) 8号館1階3番教室

(c)授業内容(概要)

脳腫瘍概論・脳腫瘍各論(グリオーマなど)

2-27 臨床腫瘍学総論Ⅱ（がんの精神社会的側面/精神腫瘍学）

(a)担当教員

精神・行動科学 教授 新井平伊

(b)日時, 場所

1月22日(火) 8号館1階3番教室

(c)授業内容(概要)

精神腫瘍総論：がんの精神症状、告知、適応障害、終末ケア、精神腫瘍各論：ケーススタディ、告知の仕方、告知の適否

2-28 チーム医療

(a)担当教員

乳腺・内分泌外科学 前任准教授 齊藤光江
分子病理病態学 教授 樋野興夫

(b)日時, 場所

2月12日(火) 8号館1階3番教室

(c)授業内容(概要)

がん診療の特徴、チーム医療とリーダーシップ、チーム医療実践の課題